

# FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS M740

## BIOS セットアップメニュー 一覧

---

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel vProは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

# BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。  
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.3)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。 また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.4)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.11)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.13)	停電復旧時の動作や、Wakeup on LAN機能などを設定します。
イベントログ (→P.15)	イベントログに関する設定を行います。
起動 (→P.15)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.16)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

## 重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。

## POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。  
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
メイン	言語 (Language)
	システム日付
	システム時刻
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
起動	起動時のNumLock設定
	起動時のロゴ表示
終了	変更を保存して終了する
	変更を保存せずに終了する
	変更を保存して終了する (再起動)
	変更を保存せずに終了する (再起動)
	保存設定
	変更を保存する 変更を保存しない
ユーザー設定値を保存する	
ユーザー設定値を読み込む	

# メインメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS版数	
BIOS日付	
Board GS	
型名	
製造番号	
カスタムメイド番号	
UUID	
LANデバイス	
LAN 1 MAC Address	
CPU詳細	
CPU名	
マイクロコード版数	
CPU速度	
キャッシュ容量	
CPUコア数	
スレッド数	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
メモリ詳細	
メモリ容量／周波数	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 1A	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 2A	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 1B	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 2B	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 1C	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 2C	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 1D	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
DIMM 2D	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
Open Source Software Licence Information	
言語 (Language) □English ■日本語	
システム日付 01/01/1998～12/31/2099	・【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 ・Windows 10では、OSが自動的に変更する場合があります。
システム時刻 00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動
アクセスレベル	BIOSセットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される

## 詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
オーディオコントローラー □使用しない ■使用する	
LAN 1 □使用しない ■使用する	
拡張スロット状態	
拡張スロット1	
拡張スロット2	
拡張スロット3	
拡張スロット4	
拡張スロット5	
拡張スロット6	
拡張スロット7	
PCI Subsystem設定	
PERR設定 ■使用しない □使用する	※注1
SERR設定 ■使用しない □使用する	※注1
PCI Express Link設定	
ASPM Support ■使用しない □L1 Only	※注1
4GB 以上のアドレス空間への デコード □使用しない ■使用する	※注1
DMI設定 □GEN 1 ■GEN 2	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
CPU設定	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
アクティブコア 初期値: 0	
Limit CPUID Maximum ■使用しない □使用する	
Hardware Prefetcher ■使用する □使用しない	※注1
Adjacent Cache Line Prefetch ■使用する □使用しない	※注1
DCU Streamer Prefetcher ■使用する □使用しない	※注1
DCU Ip Prefetcher ■使用する □使用しない	※注1
Intel Virtualization Technology □使用しない ■使用する	※注2
VT-d ■使用する □使用しない	※注2
TXT設定 ■使用しない □使用する	※注2
Power Technology □使用しない ■Energy Efficient □カスタム	※注1
HWPM Support ■使用しない □HWPM NATIVE MODE □HWPM OOB Mode	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「Power Technology」が「カスタム」 ※注1
Enhanced SpeedStep □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「Power Technology」が「カスタム」 •「HWPM Support」が「使用しない」 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Turbo Mode □使用しない ■使用する	対応CPU搭載で、下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> <li>「HWPM Support」が「使用しない」</li> <li>「Enhanced SpeedStep」が「使用する」</li> </ul> ※注1
Override OS Energy Performance ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> <li>「HWPM Support」が「使用しない」または「HWPM NATIVE MODE」</li> </ul> ※注1
Energy Performance □Performance ■Balanced Performance □Balanced Energy □Energy Efficient	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> <li>「Override OS Energy Performance」が「使用する」</li> </ul> ※注1
CPU C1E Support □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> </ul> ※注1
Autonomous C-state Support ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> </ul> ※注1
CPU C3 Report ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> <li>「Autonomous C-state Support」が「使用しない」</li> </ul> ※注1
CPU C6 Report □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> <li>「Autonomous C-state Support」が「使用しない」</li> </ul> ※注1
Package C State limit □C0 □C2 □C6 ■C6(Retention)	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「Power Technology」が「カスタム」</li> </ul> ※注1
QPI Link周波数 □6.4 GT/s □8.0 GT/s □9.6 GT/s ■自動	※注1
Uncore Frequency Override ■使用しない □Maximum □Nominal	※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ランタイムエラー記録設定	
ECCメモリエラー記録 □使用する ■訂正不可能なエラーのみ □使用しない	※注1
PCIエラー記録 ■使用しない □使用する	※注1
メモリ設定	
NUMA □使用しない ■使用する	
DDR Performance ■Performance optimized □Energy optimized	※注1
SATA設定	
SATAコントローラ設定	
SATAコントローラ □使用しない ■使用する	※注1
SATA Mode □IDE Mode ■AHCI Mode □RAID Mode	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「SATAコントローラ」が「使用する」</li> </ul> ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「SATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
sSATAコントローラ設定	
sSATAコントローラ ■使用する □使用しない	※注1
sSATA Mode □IDE Mode □AHCI Mode ■RAID Mode	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> </ul> ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1



□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA Port 4	
Port 4 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
External SATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
SATA Port 5	
Port 5 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
External SATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「SATAコントローラ」が「使用する」 ♦「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
sSATA Port 6	
Port 6 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
External sSATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
sSATA Port 7	
Port 7 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
External sSATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「sSATAコントローラ」が「使用する」 ♦「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
sSATA Port 8	
Port 8 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
External sSATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
sSATA Port 9	
Port 9 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
External sSATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「sSATAコントローラ」が「使用する」</li> <li>「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」</li> </ul> ※注1
SMART設定	
SMART診断 □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Acoustic Management設定	※注1
互換性サポートモジュール設定	
互換性サポートモジュール □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「セキュアブート機能」が「使用しない」</li> </ul>
ネットワークからの起動 □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「セキュアブート機能」が「使用しない」</li> </ul>
起動時のストレージ用オプションROM □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「セキュアブート機能」が「使用しない」</li> </ul>
起動時のビデオ用オプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「セキュアブート機能」が「使用しない」</li> </ul>
起動時のその他のオプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「セキュアブート機能」が「使用しない」</li> </ul>
TPM (セキュリティチップ) 設定	
TPM (セキュリティチップ) 設定	
セキュリティチップ □無効にする ■有効にする	
TPM状態の変更内容 ■変更しない □クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「セキュリティチップ」が「有効にする」</li> </ul> ⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「セキュリティチップの設定を変更する」を参照
ハッシュポリシー □SHA-1 ■SHA-2	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「セキュリティチップ」が「有効にする」</li> </ul> ※注3           ⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「セキュリティチップの設定を変更する」を参照
現在のTPMの状態	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB設定	
USB設定	
xHCI モード □Smart Auto ■自動 □使用する □使用しない	本設定を「使用しない」に設定すると、USB3.0ポートはUSB2.0ポートとして機能する
USBレガシーサポート ■使用する □使用しない □自動	
マスストレージデバイス ■自動 □Floppy □Force FDD □Hard Disk □CD-ROM	接続された各USBデバイスごとに設定可能
USBポートセキュリティ	
USBポート設定 ■全て有効 □全て無効 □前面と内部のみ有効 □背面と内部のみ有効 □内部のみ有効 □使用中ポートのみ有効	
USBデバイス設定 ■全てのデバイス □キーボード/マウスのみ □ストレージとHub以外	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「USBポート設定」が「前面と内部のみ有効」 または「背面と内部のみ有効」 または「使用中ポートのみ有効」
System Management	
システム名	
ファームウェア版数	
SMCS版数	
起動時のFANチェック □使用しない ■使用する	
FAN制御 □Enhanced ■自動 □Full	
Watchdog Timeout 初期値: 0	・ 1~255 ・ 単位: 分

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
温度	
PECI CPU0	温度センサー (CPU内蔵) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Core	温度センサー (Core) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
MEM AB	温度センサー (MEM AB) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
MEM CD	温度センサー (MEM CD) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
PCIe Slot1	温度センサー (PCIe SLOT1) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
PCIe Slot2	温度センサー (PCIe SLOT2) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Fronts	温度センサー (Front) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
PCH	温度センサー (チップセット内部) の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
FAN	
Fan1	REAR FANの現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Fan2	HDD FANの現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Fan3	SLOT CARD FANの現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
FanPS	PSU FAN (電源ユニットに搭載) の現在の状態
電圧	
VCC 3.3V	
3.3V AUX	
V_IN (12V)	
VBAT 3.0V	
シリアルポートコンソール リダイレクション設定	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
コンソールリダイレクション設定	・ インテルvPro/AMTに対するコンソールリダイレクションに関する設定 ・ SOL (Serial Over LAN) セッションの有効時に設定可能
コンソールタイプ □VT100 □VT100+ □VT-UTF8 ■ANSI	
Bits per second □9600 □19200 □38400 □57600 ■115200	
Data Bits □7 ■8	
Parity ■None □Even □Odd □Mark □Space	
Stop Bits ■1 □2	
Flow Control ■None □Hardware RTS/CTS	
VT-UTF8 Combo Key Support □使用しない ■使用する	
Recorder Mode ■使用しない □使用する	
Resolution 100x31 ■使用しない □使用する	
Legacy OS Redirection Resolution ■80x24 □80x25	
Putty KeyPad ■VT100 □LINUX □XTERM6 □SCO □ESCN □VT400	
Redirection After BIOS POST ■Always Enable □BootLoader	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
AMT設定	
ME版数	
Intel AMT BIOS Extension □使用しない ■使用する	
AMT USB プロビジョニング ■使用しない □使用する	
AMT/ME設定のクリア ■使用しない □使用する	
MEセットアップ ■Nomal □Enter MEBx Setup	
IFR設定 ■使用しない □使用する	
ネットワークスタック	
ネットワークスタック □使用しない □使用する	・ご購入時は、Windows 10の場合「使用する」、 Windows 7の場合「使用しない」に設定 ・「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定される
IPV4環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「ネットワークスタック」が「使用する」
IPV6環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「ネットワークスタック」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オプションROM設定	
拡張スロット1のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット2のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット3のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット4のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット5のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット6のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット7のオプションROM □使用しない ■使用する	
Intel(R) Ethernet Connection I217-LM	オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ※注1
Intel RSTe sSATA Controller	・オンボードSATA-RAIDコントローラのオプションROMに関するサブメニュー ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「セキュアブート機能」が「使用する」 ※注1
UEFI ドライバの状態	

注1：本設定は初期値のまま変更せずに使いください。

注2：本ワークステーションにこの機能の動作が確認されたソフトウェアを搭載していない場合は、「使用しない」に設定してください。「使用する」に設定した場合の動作保証はできません。

注3：本設定を変更すると、セキュリティアップで保護されたデータなどは利用できなくなります。本設定を変更する前に保護を解除してください。

## セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード設定	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
WOL時のパスワードスキップ ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用しない…WoL機能での起動時に、パスワード入力を求める</li> <li>・使用する…WoL機能での起動時に、パスワード入力を求めない</li> <li>・「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能</li> <li>・設定は内蔵LANデバイスに対してのみ有効</li> </ul> ※注1
フラッシュメモリへの書き込み □使用しない ■使用する	
カバー開放検出 ■使用しない □使用する	「管理者用パスワード」を設定した場合に使用可能 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 ■毎回 □使用しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回…本ワークステーション起動時に、パスワード入力を求める</li> <li>・使用しない…本ワークステーション起動時に、パスワード入力を求めない</li> <li>・「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能</li> </ul> ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のHDDパスワード入力 ■使用する □使用しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力を求める</li> <li>・使用しない…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力を求めない</li> <li>・再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力の要求はなし</li> </ul> ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
〔ハードディスクドライブ名〕	ハードディスクセキュリティに対応したハードディスク搭載時に表示 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示
Security Frozen	設定状況を表示
ユーザーパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザーパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能。再起動後は表示されない
セキュアブート設定	
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効 (セットアップモード)」または「有効 (ユーザー モード)」が表示される
セキュアブート	・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「使用する」、「使用しない」時は「使用しない」と表示される
Vendor Keys	
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	・ご購入時は、Windows 10の場合「使用する」、 Windows 7の場合「使用しない」に設定 ・「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定される ・本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が変更される (必要に応じて起動順位を設定し直し) ※注2 ※注3
署名情報設定 ■標準 □カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」 ・「署名情報の初期化」が「使用する」
署名情報の削除	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」 ・「署名情報の初期化」が「使用しない」
キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Platform Key	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Forbidden Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized SignaturesTimeStamps	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「署名情報設定」が「カスタム」

注1: WoL時にハードディスクパスワードの入力をスキップすることはできません。

注2: 「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 10 (UEFIモード) 以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。

注3: Windows 10のモード (UEFI／レガシー) は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 10を起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。  
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

## 電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
電源オン設定 ■ BIOS制御 □ ACPI制御	
電源オフ時の電源供給停止 ■ 使用しない □ 使用する	※注1
AC通電再開時の動作 □ 電源OFF □ 電源ON ■ 自動 □ 使用しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定変更は再起動後に有効</li> <li>・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。</li> <li>・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」</li> </ul> <p>※注2</p>
S4時の電源管理 ■ 使用しない □ 使用する	※注1
電源オフ時のUSB電源供給 ■ 電源OFF □ 電源ON	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「電源オフ時の電源供給停止」が「使用しない」</p> <p>※注1</p>
ウェイクアップ設定	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「電源オフ時の電源供給停止」が「使用しない」</p>
LAN □ 使用しない ■ 使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内蔵LANデバイスおよび拡張LANカードに対して有効</li> <li>・設定変更は再起動後に有効</li> </ul> <p>※注3 ※注4 ※注5 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「Wakeup on LANを有効にする」を参照</p>
LANによるウェイクアップ後の起動 ■ 起動順位に従う □ ネットワークから起動する	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「LAN」が「使用する」</p>

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
時刻 ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注3 ※注4 ※注6
時 0~23	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
分 0~59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
秒 0~59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
モード □毎週 ■毎日 □毎月	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
日曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
月曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
火曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
水曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
木曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
金曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
土曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
日 1~31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎月」
USBキーボード ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「電源オフ時のUSB電源供給」が「電源ON」 ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずに使いください。

注2：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワークステーションの電源が投入されることがあります。

注3：Windows 10の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注4：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本ワークステーションの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注5：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。Windowsのデバイスマネージャーでの設定が必要です。

注6：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。Windowsのタスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

## イベントログメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ設定	
イベントログ □使用しない ■使用する	
イベントログ消去設定	
イベントログの消去 ■いいえ □次回起動時に消去します □毎回起動時に消去します	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「イベントログを消去する」を参照
イベントログフル ■何もしない □すぐに消去する	
イベントログ内容設定	
起動イベントの記録 □使用する ■使用しない	
MECI 初期値：1	1～255 ※注
METW 初期値：60	0～99 ※注
カスタム設定	
カスタム定義ログ □使用しない ■使用する	※注
カスタム定義ログの変換 ■使用しない □使用する	※注
イベントログの表示	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「イベントログを確認する」を参照

注：本設定は初期値のまま変更せずに使いください。

## 起動メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時のNumLock設定 ■On □Off	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 □使用しない ■使用する	
ハードウェアの状態表示 □使用しない ■使用する	
起動エラー時の動作 □起動を続ける ■キー押下まで待つ	
プライマリディスプレイ □Slot 1 □Slot 2 □Slot 3 □Slot 4 □Slot 5 ■Slot 6 □Slot 7	
起動メニュー □使用しない ■使用する	
リムーバブルメディアからの起動 □使用しない ■使用する	
Virus Warning □使用する ■使用しない	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	OSを読み込むデバイスの優先順位を設定※注 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Option #n	<p>nは起動の順位を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10の場合、ご購入時は次のように設定 #1: Windows Boot Manager #2: UEFI: [CD/DVD デバイス名] #3: UEFI: IPv4 [LAN デバイス名] #4: UEFI: IPv6 [LAN デバイス名]</li> <li>Windows 7の場合、ご購入時は次のように設定 #1: [HDD デバイス名] #2: [CD/DVD ドライブ名] #3: [LAN デバイス名]</li> <li>カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、起動順位は異なる</li> <li>「CD/DVD ドライブ」はCD/DVD デバイスが接続されている場合に表示</li> <li>「UEFI: [CD/DVD デバイス名]」は、UEFI起動可能なディスクをセットしている場合に表示</li> <li>UEFI起動デバイスから起動する場合は、BIOS起動デバイスより上位に設定すること</li> <li>起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加される</li> <li>UEFI アプリケーションが、優先順位を変更することがある</li> </ul>

注：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

## 終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
保存設定	
変更を保存する	
変更を保存しない	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語 (Language) ・システム日付 ・システム時刻 ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・起動デバイスの優先順位 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「ご購入時の設定に戻す」を参照
ユーザー設定値を保存する	
ユーザー設定値を読み込む	
強制起動	
起動デバイス名	